

## 基礎交付金事業実績書

団体名：石森コミュニティ運営協議会

1 総事業費 5,103,005 円

## 2 事業内容

(1) 事業名 石森ふれあい運動会事業

|      |   |
|------|---|
| 事業費  | 552,684 円   |
| 事業内容 | ◆第14回石森ふれあい運動会<br>開催日：9月10日（日） 中止<br>会 場：石森ふれあいセンター グラウンド<br>内 容：玉入れ、宝釣り、ボール運びなど6種目   |
| 事業成果 | ・4年ぶりの開催となる今回の運動会は、競技内容も見直し、子供からお年寄りまで、みんなが無理なく楽しく参加できる種目で実施する予定であったが、台風13号の影響による大雨のためグラウンドコンディションが不良となり、前日に会場準備ができない状況となったことから、大会役員が協議し、中止とした。 |

(2) 事業名 石森コミュニティ祭事業

|      |  |
|------|--|
| 事業費  | 827,815 円  |
| 事業内容 | ◆第36回石森コミュニティ祭<br>開催日：11月12日（日）<br>会 場：石森ふれあいセンター<br>内 容：ステージイベント（よさこい・フラダンス・庄司恵子&KASUMI 親娘ショー）、各種講座等の作品展、昔なつかしの写真展、ラッキー抽選会、縁日コーナーなど<br>参加者：400名   |
| 事業成果 | ・昨年同様、行政区ごとに演技を披露する仕法ではなく、ステージイベントの観覧と各講座で作った作品の展示観賞の形にした。写真展では、昔の石森の写真の展示を行った。今年は、写真の提供を地域の方に呼掛け、提供された写真も展示した。さらに、今回初めて行った縁日コーナーには、地域内の事業所から出店の協力もあり、子供や親子連れなど大勢が訪れ、楽しんでいた。<br>また、恒例の空くじなしのラッキー抽選会も大盛況で、みんなが集う楽しみを感じ、地区民相互の親睦が図られた。 |

(3) 事業名 健康増進スポーツ事業

|      |   |
|------|---|
| 事業費  | 155,535 円   |
| 事業内容 | ◆ふるさとスポーツ祭石森地区大会（石森地区ユニカール大会）<br>開催日：5月28日（日）<br>会場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設<br>内容：行政区対抗戦<br>参加者：98名  |
| 事業成果 | ・ふるさとスポーツ祭については、市大会は廃止となったが、中田町域大会は、種目をユニカール1種目のみで開催することとなった。町域大会の予選を兼ねて開催した石森地区大会は、過去最多の18チーム（18行政区）が参加。老若男女が幅広く参加し、活気に満ちた熱戦が繰り広げられた。大会は、終始和やかな雰囲気で行われ、スポーツを通して地域の親睦も図ることができた。 |

(4) 事業名 世代間交流事業

|      |  |
|------|--|
| 事業費  | 336,776 円  |
| 事業内容 | ◆石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭り（共催事業）<br>開催日：8月19日（土）<br>会場：石ノ森章太郎ふるさと記念館<br>内容：ステージイベント、御輿渡御、抽選会など<br>参加者：約2,000名<br>◆加賀野ふれあい夏祭り（共催事業）<br>開催日：7月<br>会場：加賀野小学校ほか<br>内容：6年生の児童が地域の方々の指導で灯籠を作成し、完成した灯籠は、初めに小学校の体育館に展示。その後、7月18日（火）から7月21日（金）まで地域内の事業所や店舗など13カ所に展示して、地域に伝わる夏の風情を醸し出した。  |
| 事業成果 | ・4年ぶりの開催となった石ノ森章太郎ふるさと記念館夏祭りでは、恒例のよさこい演舞に加え、おもしろアコーディオンショーや各団体が思考を凝らした出し物で会場を盛り上げ、世代を超えた交流と地域の活性化を図ることができた。<br>・加賀野ふれあい夏祭りは、従来の学区内の人たちが大勢集まって行うお祭りは中止となったが、6年生の児童が灯籠を作成し、地域内の事業所や店舗等の協力により、作品を各施設に展示した。<br>これは、「地域の文化や伝統を継承させたい。」「地域の人たちに夏の雰囲気を感じてほしい。」と取り組んだもの。この灯籠作りを通して、子供たちと指導者（地域住民）の交流が図られ、さらに、地域内の事業所等の協力により作品を各施設に展示したことで、子供たちの作品制作意欲の向上や地域の人たちの興味・関心の高まりに繋がり、夏の雰囲気も大いに味わってもらえた。 |

(5) 事業名 コミュニティ組織運営事業

|      |  |
|------|--|
| 事業費  | 2,029,094 円  |
| 事業内容 | <p>◆各部会、役員会等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会 4月22日(土) 19名(委任状9名)</li> <li>・会計監査 年2回(4月、10月) 12名</li> <li>・総務部会 年7回(4月、6月、7月、9月、11月、1月、3月) 延135名</li> <li>・役員会議 年12回(毎月第2木曜日) 延101名</li> <li>・体育部会 年3回(4月、7月、8月) 延103名</li> <li>・文化部会 年2回(4月、10月) 延68名</li> </ul> <p>◆新春懇談会</p> <p>開催日：令和6年1月5日(金)</p> <p>会場：菅原屋</p> <p>内容：新年に当たり、本協議会委員及び市議会議員、市役所関係者などが一堂に会して情報交換等を行った。</p> <p>参加者：29名</p> <p>◆役員研修会</p> <p>開催日：11月24日(金)</p> <p>行先：陸前高田市方面(曹洞宗 普門寺・気仙大工左官伝承館)</p> <p>参加者：21名</p> <p>◆環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動 各行政区に花苗配付</li> <li>・除草作業 年2回(5月、9月) 127名</li> </ul> <p>◆センターだより発行</p> <p>発行回数：年12回(2,500枚×12回)</p> <p>◆石森コミュニティ運営協議会防災訓練</p> <p>開催日：令和6年3月9日(土)</p> <p>会場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設</p> <p>内容：参加者を3班に分けて、以下の訓練をローテーションにより実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①簡易テント・エアベットの組立・撤収</li> <li>②応急手当などの救急救命処置</li> <li>③119通報、非常食作り体験</li> </ol> <p>参加者：57名</p> |
| 事業成果 | <p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に活気が戻ってきている状況下、必要な会議や部会は定期的で開催し、常に情報の共有を図り、共通認識の基、運営に努めた。このことにより、自治意識、コミュニティ意識の向上を図ることができた。</p> <p>また、ふれあいセンターだよりを毎月発行して全戸配付することにより、行事等の情報発信をすることで、石森地域の連帯感を欠くことのないよう努めた。</p> <p>さらに、住民の防災意識の高揚を図るため、防災訓練を実施した。</p>   |

(6) 事業名 地域づくりプロジェクト全体事業

|      |   |
|------|---|
| 事業費  | 742,474 円   |
| 事業内容 | <p>◆会議等</p> <p>①地域づくり実践プロジェクト全体会議 年3回 延57名</p> <p>②個別会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの場活力プロジェクト会議 年6回 延61名</li> <li>・暮らし人つながりプロジェクト会議 年7回 延69名</li> <li>・暮らし人つながりプロジェクト役員会議 年1回 5名</li> </ul> <p>◆情報発信</p> <p>内 容：地域づくり広報紙「にぎわい通信いしのもり」発行<br/>発行回数：年2回 第22号（5/18）、第23号（1/18）</p> <p>◆活動奨励金交付事業</p> <p>内 容：行政区において地域の活性化を図ることを目的として実施する事業に対し、奨励金を交付して活動を支援する。<br/>行政区長からの申請に基づき役員会議において審査を行い、交付する。<br/>申請行政区：17行政区<br/>交付行政区：16行政区（交付辞退1行政区）</p> <p>◆先進地視察移動研修事業</p> <p>開催日：10月10日（火）～10月11日（水）<br/>行 先：秋田県大潟村（大潟村役場、大潟村干拓博物館）<br/>参加者：15名</p> |
| 事業成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を発行して、地域づくり事業の様子やイベントの募集などいろいろな情報発信をすることにより、地域づくり実践プロジェクトの活動への関心を高めることができた。</li> <li>・活動奨励金交付事業は、行政区内での敬老会やミニディ、スポーツ大会、クリスマス会、防災訓練、視察研修会、地区探検会など様々なコミュニティ活動に活用され、行政区内の活性化と親睦が図られた。</li> </ul>  |

(7) 事業名 暮らしの場活力プロジェクト事業

|      |  |
|------|--|
| 事業費  | 135,951 円  |
| 事業内容 | <p>◆環境改善：道路清掃クリーン模範路づくり活動</p> <p>開催日：10月21日（土）</p> <p>内 容：ゴミのポイ捨て多発エリアの道路清掃活動による環境美化の啓発<br/>参加者：38名</p> <p>◆交通関係改善：交通安全標語の募集（共催事業）</p> <p>内 容：石森小学校と加賀野小学校の6年生を対象に、交通安全啓発用標語の募集を行い、入選作品を交通安全啓発活動に活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間：6月16日（金）～7月3日（月）</li> <li>・応募作品：51点（児童全員）</li> </ul> |

|      |  |
|------|--|
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表 彰：最優秀賞1点、優秀賞2点</li> <li>・活用方法：入選標語でのぼり旗を作製し、交通安全運動の期間中、地域内に設置して交通安全を啓発。</li> </ul> <p>◆豊かな農業：家庭菜園の体験<br/>期 間：7月～令和6年2月<br/>内 容：遊休農地を活用した農業体験事業<br/>家庭菜園の体験希望者を募集し、野菜作りを体験<br/>体験者：6名</p> |
| 事業成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路清掃活動により、ポイ捨ての抑止と意識の高揚が図られた。</li> <li>・石森地区内の小学生から交通安全意識啓発のための標語を募集し、入選作品を交通安全活動で使用するにより交通安全意識の高揚が図られ、交通事故防止の一助となった。(令和6年2月24日で石森地区が交通死亡事故ゼロ2000日を達成した。)</li> </ul>                       |

(8) 事業名 暮らす人つながりプロジェクト事業

|      |   |
|------|---|
| 事業費  | 222,676円  |
| 事業内容 | <p>◆生き生き交流：もちつき&amp;お供えもち作り体験<br/>開催日：12月16日(土)<br/>会 場：石森ふれあいセンター 調理室ほか<br/>内 容：昔ながらの臼と杵を使った餅つきとお供え餅作りの体験<br/>参加者：31名</p> <p>◆介護教室：石森介護教室<br/>開催日：令和6年2月10日(土)<br/>会 場：石森ふれあいセンター 研修室<br/>内 容：介護保険制度の基礎知識についての講話<br/>参加者：29名</p> <p>◆石森の歴史を学ぶ</p> <p>①石森歴史のバスツアー<br/>開催日：9月30日(土)<br/>場 所：石森地域内<br/>内 容：「石森歴史の散歩道」(石森コミュニティ運営協議会発行)改訂版に掲載している石森地内の文化財・史跡・神社仏閣などをバスで巡る。<br/>参加者：19名</p> <p>②石森ふるさとを語る会 学習会及び研修会<br/>開催日：年3回(5月、10月、11月)<br/>会 場：石森ふれあいセンター 研修室<br/>内 容：石森地区の文化的遺産を発掘、調査研究し、その資料を後世に伝承する活動。<br/>参加者：延42名</p> |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>◆心ふれあう仲間づくり</p> <p>①ドラムサークル<br/> 開催日：10月22日（日）<br/> 会場：石森ふれあいセンター 研修室<br/> 内容：打楽器（パーカッション）を使い、リズムアンサンブルをつくる参加型音楽ワークショップ。今年は、ハロウィンの仮装をして実施した。<br/> 参加者：14名</p> <p>②瓢箪作り講座<br/> 開催日：年3回（6月、9月、10月）<br/> 会場：石森ふれあいセンター<br/> 内容：瓢箪を種まきから実の収穫まで行い、さらに、種抜き・洗浄・乾燥して、加工できるようにする。<br/> 参加者：延25名</p> <p>③ひょうたんランプ作り教室<br/> 開催日：7月29日（土）<br/> 会場：石森ふれあいセンター 研修室<br/> 内容：小学生が瓢箪に自分で模様や絵柄を考えて描き、キリを使って穴を開け、ライトを取付けてランプを作る。瓢箪は、瓢箪作り講座で作った瓢箪を使用。<br/> 参加者：30名</p> <p>◆相互扶助育成</p> <p>①高齢者見守り活動：75歳以上の独居老人へのXmasプレゼント<br/> 実施日：12月16日（土）～12月25日（月）<br/> 内容：地域づくり実践PJ員がタオルでくまの人形を作り、行政区長、民生児童委員と協力して地区内の独居老人宅を訪問して配付しながら交流する。<br/> 対象者：65名（希望者）</p> <p>②フードドライブ：家庭の食品ロス削減と共助による生活困窮者の支援<br/> 実施日：6月～2月（5回受付）<br/> 内容：家庭で使いきれずに余っている食品を集めて、登米市内のフードバンク等の生活困窮者支援団体に寄付し、食料の支援を必要とする世帯や福祉施設などに無償で提供する活動。<br/> 提供者：30名<br/> 提供数：459点（米、インスタント・レトルト食品、缶詰等）</p> |
| 事業成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もちつき&amp;お供えもち作り体験は、昔ながらの臼と杵を使っての餅つきとお供え餅作り。参加したお年寄りには昔を思い出し、子どもや若い親たちは、初めて杵と臼を使って餅をつき、ついた餅でお供え餅を作ったことで、とても感動していた。餅つきを通して、世代間の交流と郷土文化の伝承につながった。</li> <li>・歴史のバスツアーは、地域内の史跡等を紹介した読本の「石森歴史の散歩道」</li> </ul>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>(石森ふるさとを語る会編集協力)を片手に現地を見て回り、歴史案内人に詳しく説明してもらうことで、学習の場としてはもちろん、自分たちが住んでいる地域に興味や関心を持つきっかけづくりとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守り活動は、石森地区の75歳以上の独居老人へ地域づくり実践PJ員が手作りしたプレゼントを、PJ員が民生児童委員と行政区長と連携して手渡し、地域の人々のつながり、孤立防止、情報共有が図られた。また、独居老人からは感謝の言葉やはがきをいただき、活動の励みとなっている。</li> </ul> |
|--|---|

(9) 事業名 文化振興事業

|      |   |
|------|---|
| 事業費  | 100,000円  |
| 事業内容 | <p>◆石森地区老人クラブ学習会（共催事業）</p> <p>開催日：令和6年2月22日（木）</p> <p>会 場：石森ふれあいセンター 多目的研修施設</p> <p>内 容：落語&amp;マジックショー（桂福枝・笑福亭智之介）</p> <p>参加者：106名</p>  |
| 事業成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・石森地区老人クラブとの共催で開催した学習会は、「笑って笑って免疫力アップ！」と題して、桂福枝氏による落語と笑福亭智之介氏によるマジックショーの公演を行った。</li> </ul> <p>コロナ禍中は、大声でなかなか笑えなかった状況が続いていたが、上方落語の軽快なテンポに引きこまれ、笑い声が響いていた。マジックによるパフォーマンスでも、会場は大いに盛り上がり、地域住民相互の親睦とコミュニケーションが深まった。</p> |